

平成31年度 全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査の結果の公表にあたって

武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。

今年度も保護者・地域住民の皆様に学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっていただけるように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け、指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組めます。

保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思えます。

児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回、学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は、小学6年生、中学3年生は全国学力・学習状況調査、その他は、佐賀県学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は、今年度から、国語、算数(数学)共にこれまでのA問題、B問題の区別なく「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う問題の調査となりました。

また、今年度は、中学3年生において、3年に1度の英語の「話すこと」調査も実施されました。

各学校のホームページには、学校ごとの分析と改善に向けた具体的な取組を掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

実態分析と改善に向けた 具体的な取組

武雄市 小学校（11校）全体

【武雄市 小学校】

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

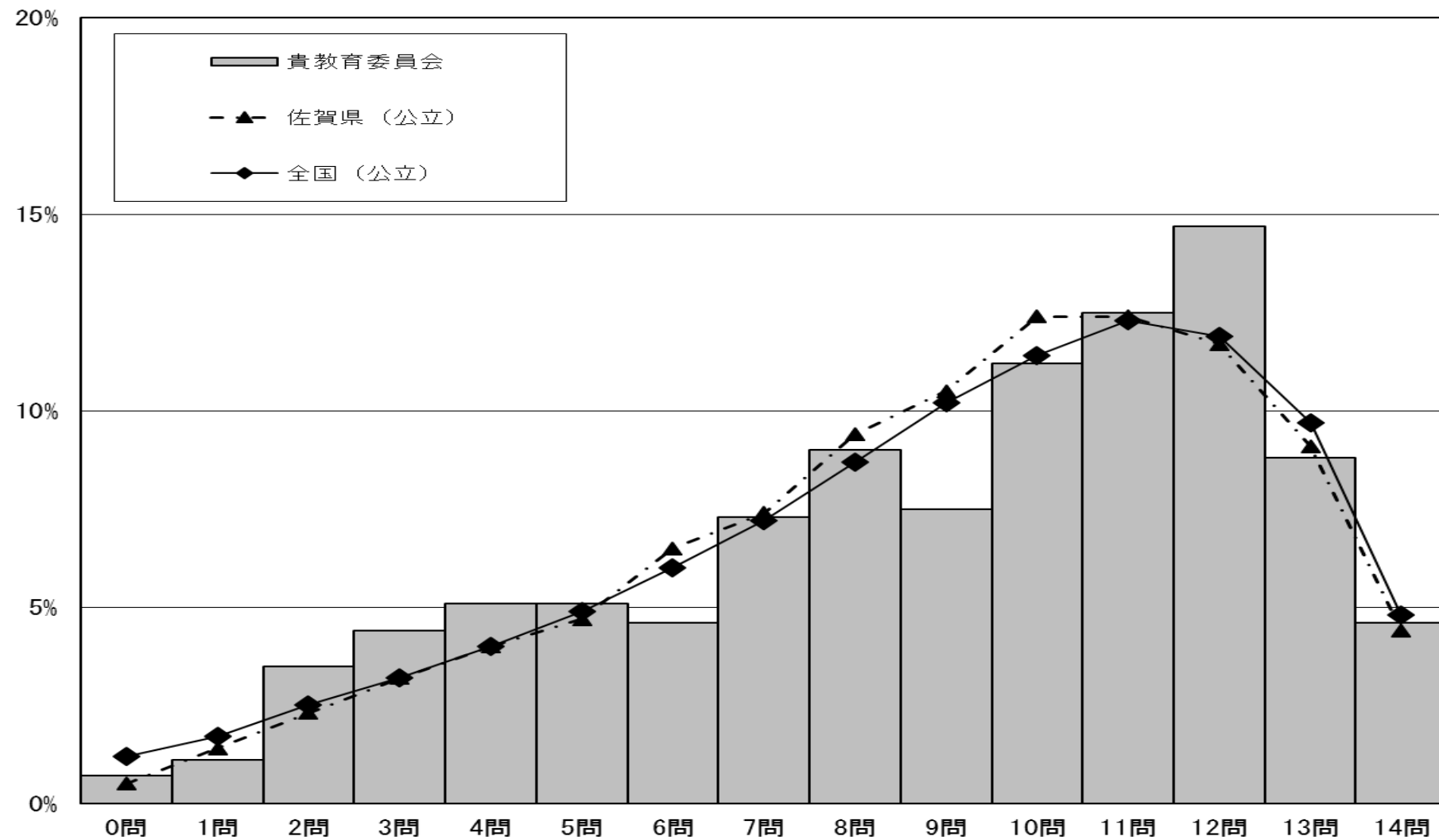
	国語		算数	
	5 年時	6 年時	5 年時	6 年時
H27 入学	65.6		65.5	
現 5 年	(1.00)		(1.00)	
H26 入学	67.4	64	70.6	64
現 6 年	(1.01)	(1.00)	(1.00)	(0.97)
H31 正答率の全国比		(1.00)		(0.96)

◎5 年時は佐賀県学習状況調査、6 年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段()は、県平均を 1 としての比較。

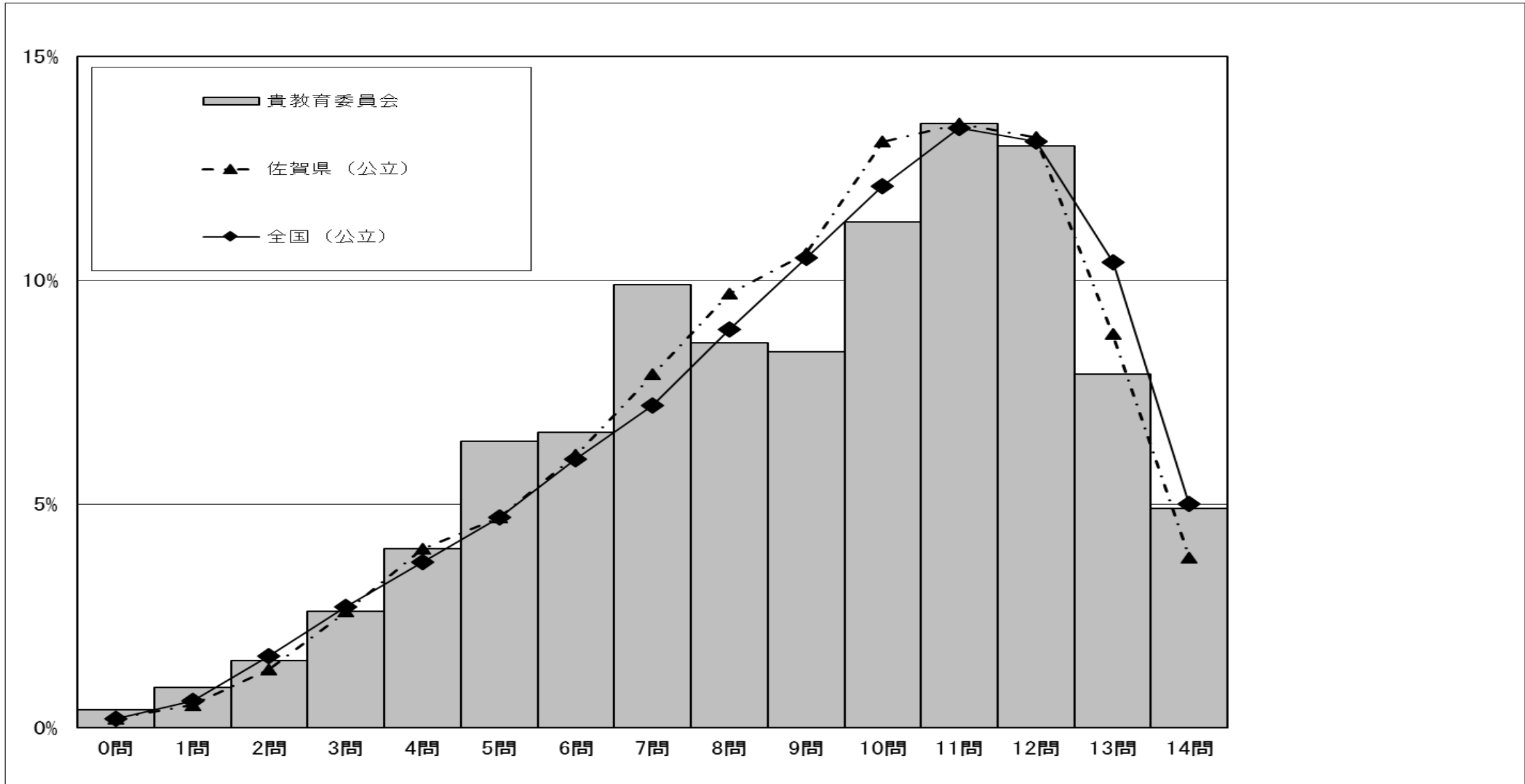
◎「H 3 1 正答率の全国比」は全国平均を 1 としての比較。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（小6国語）



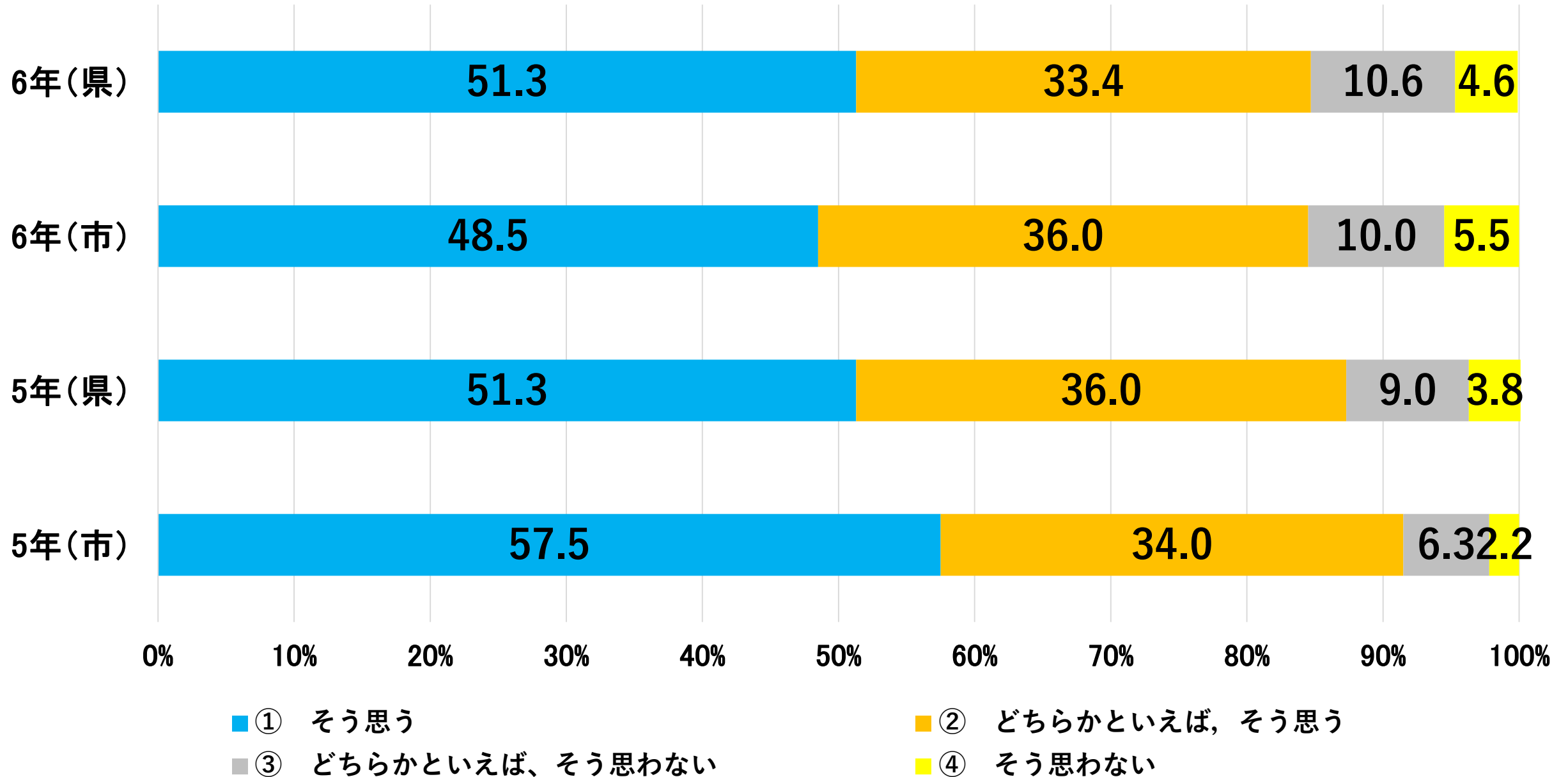
文部科学省 平成31年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（小6算数）

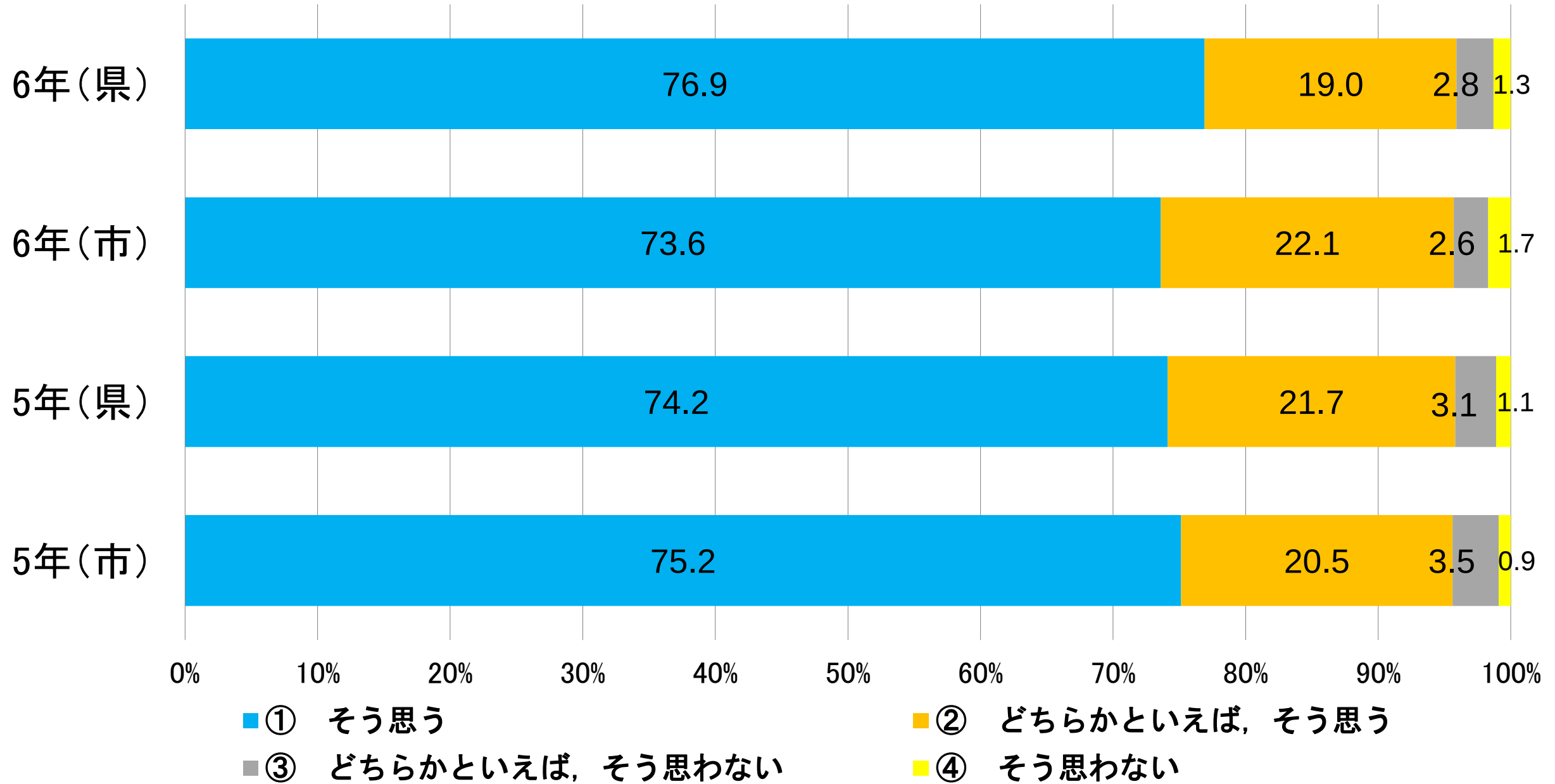


文部科学省 平成31年度全国学力・学習状況調査（小学校）結果より

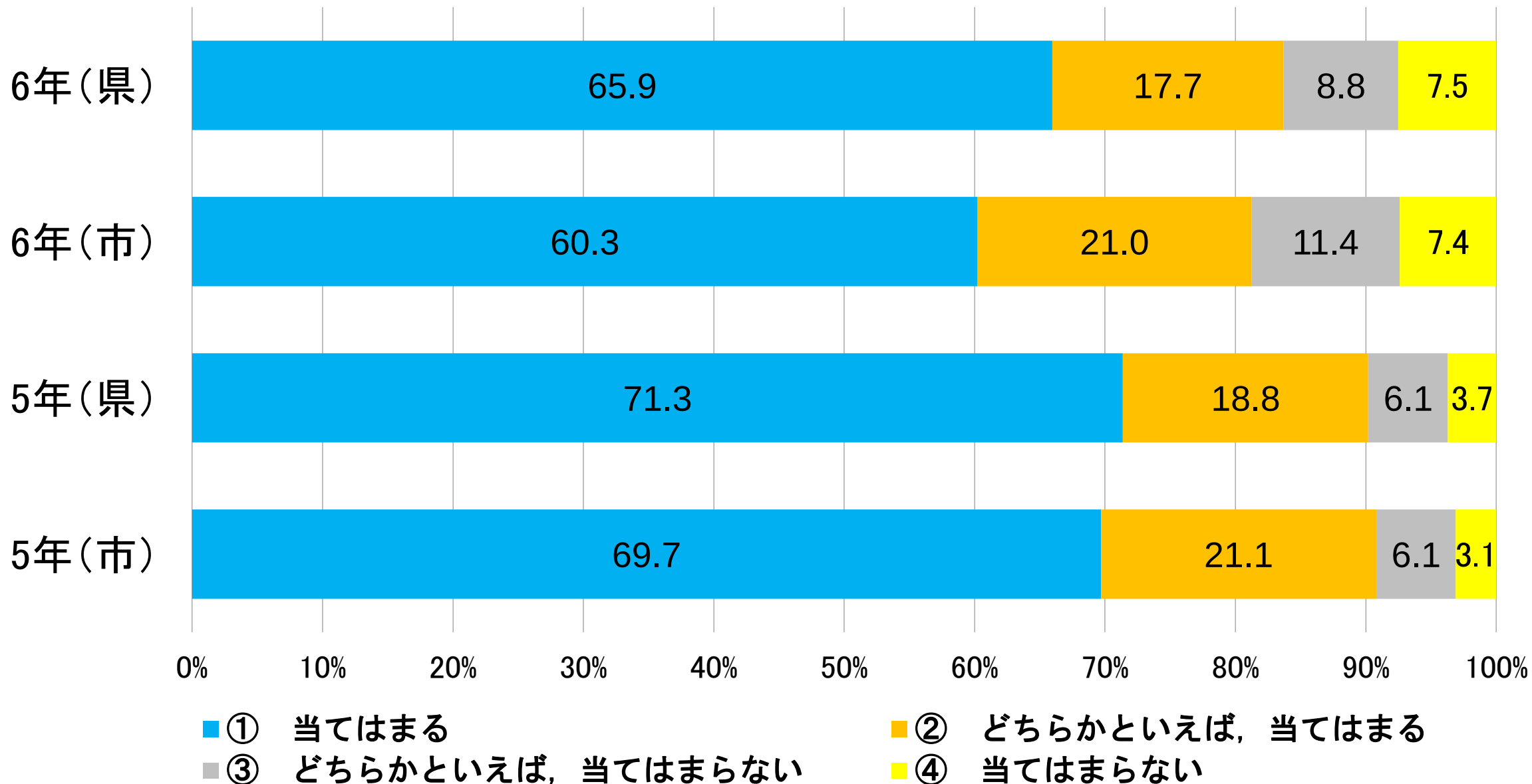
学校に行くのは楽しいと思いますか。



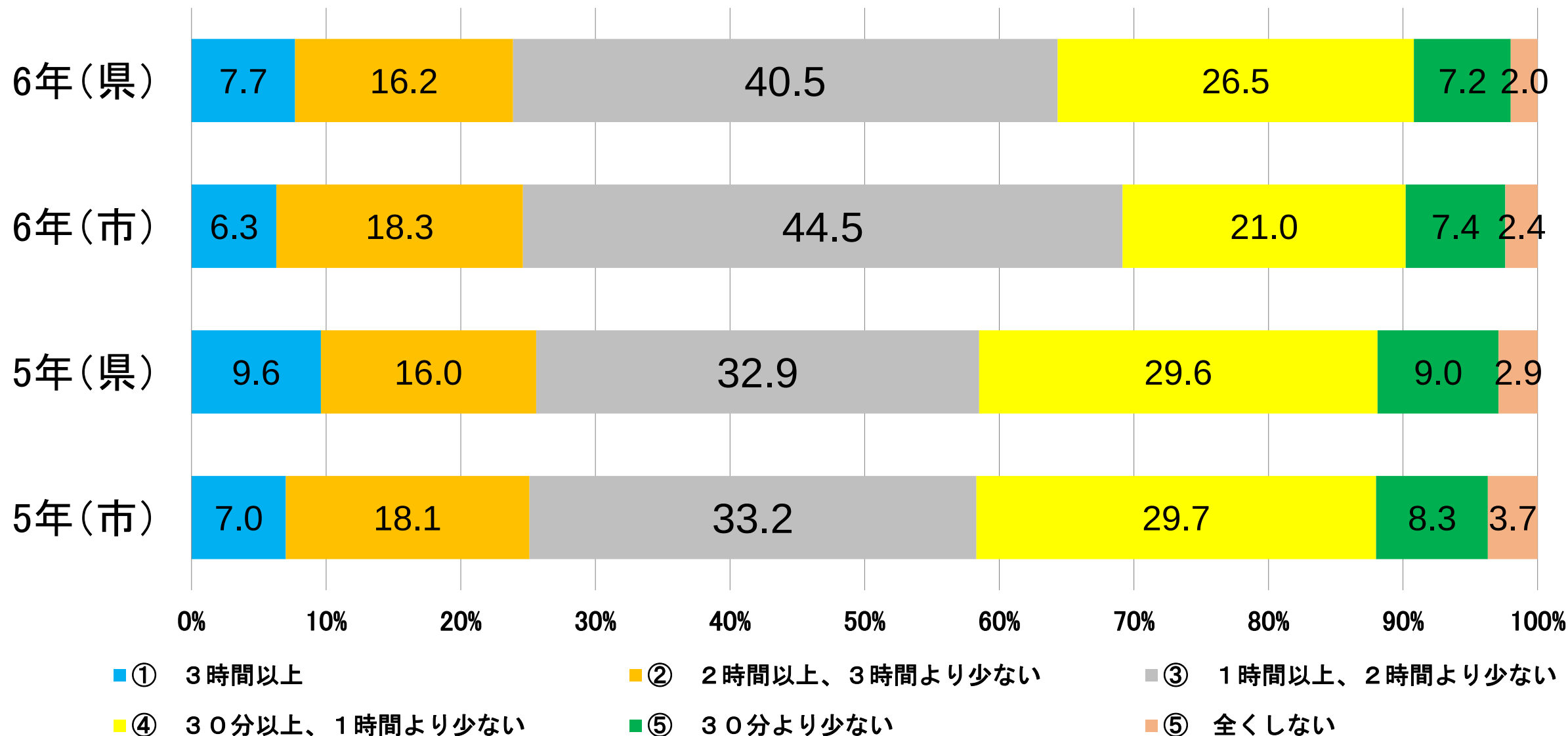
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



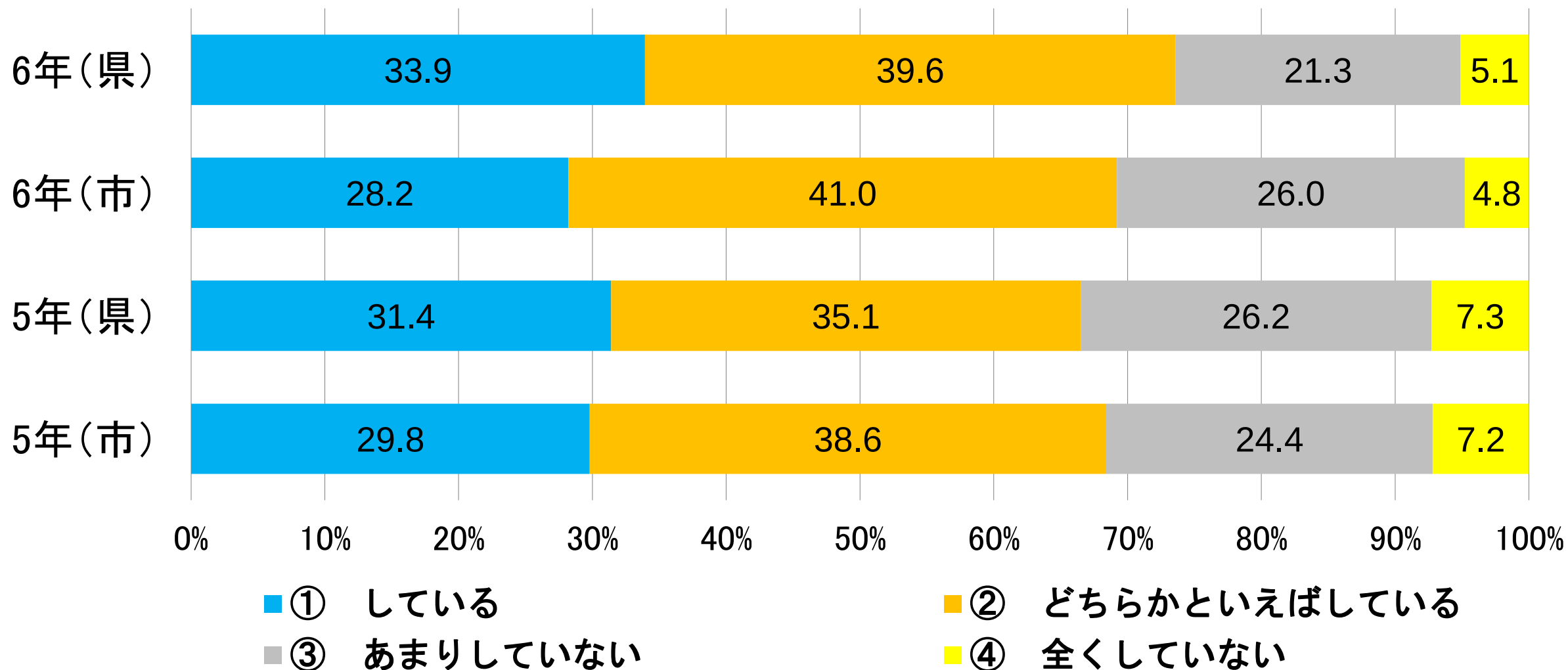
将来の夢や目標をもっていますか。



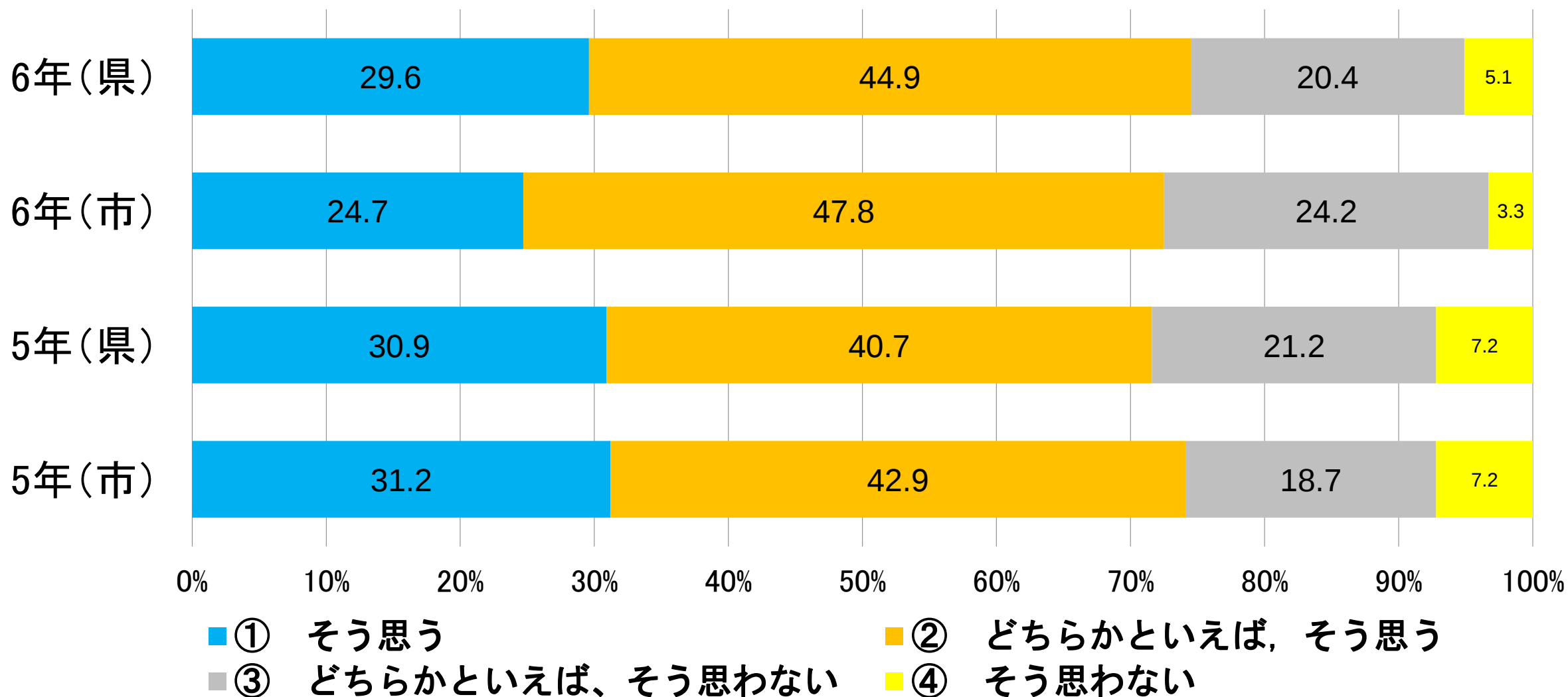
学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか。
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）



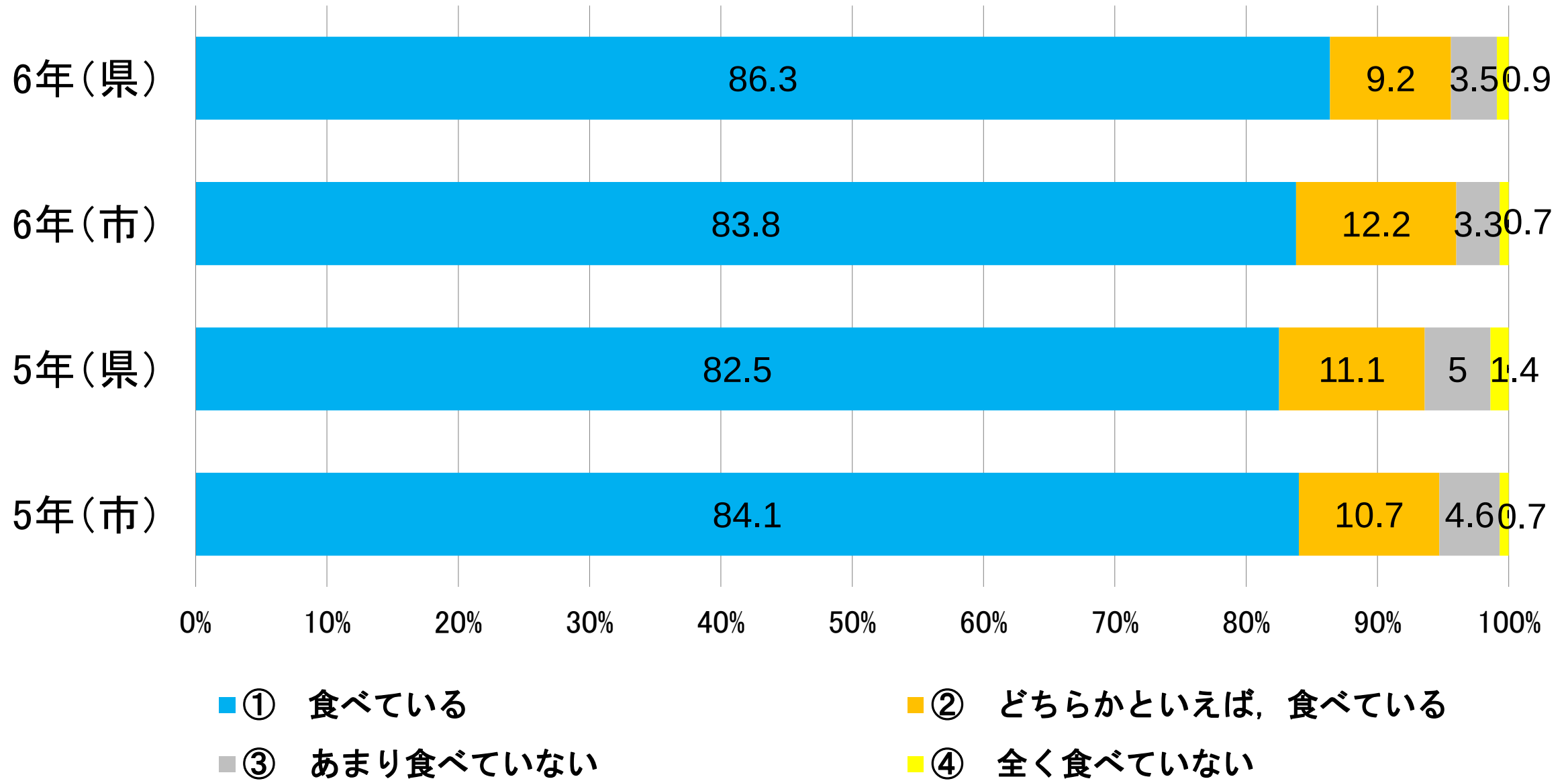
自分で計画を立てて勉強していますか。



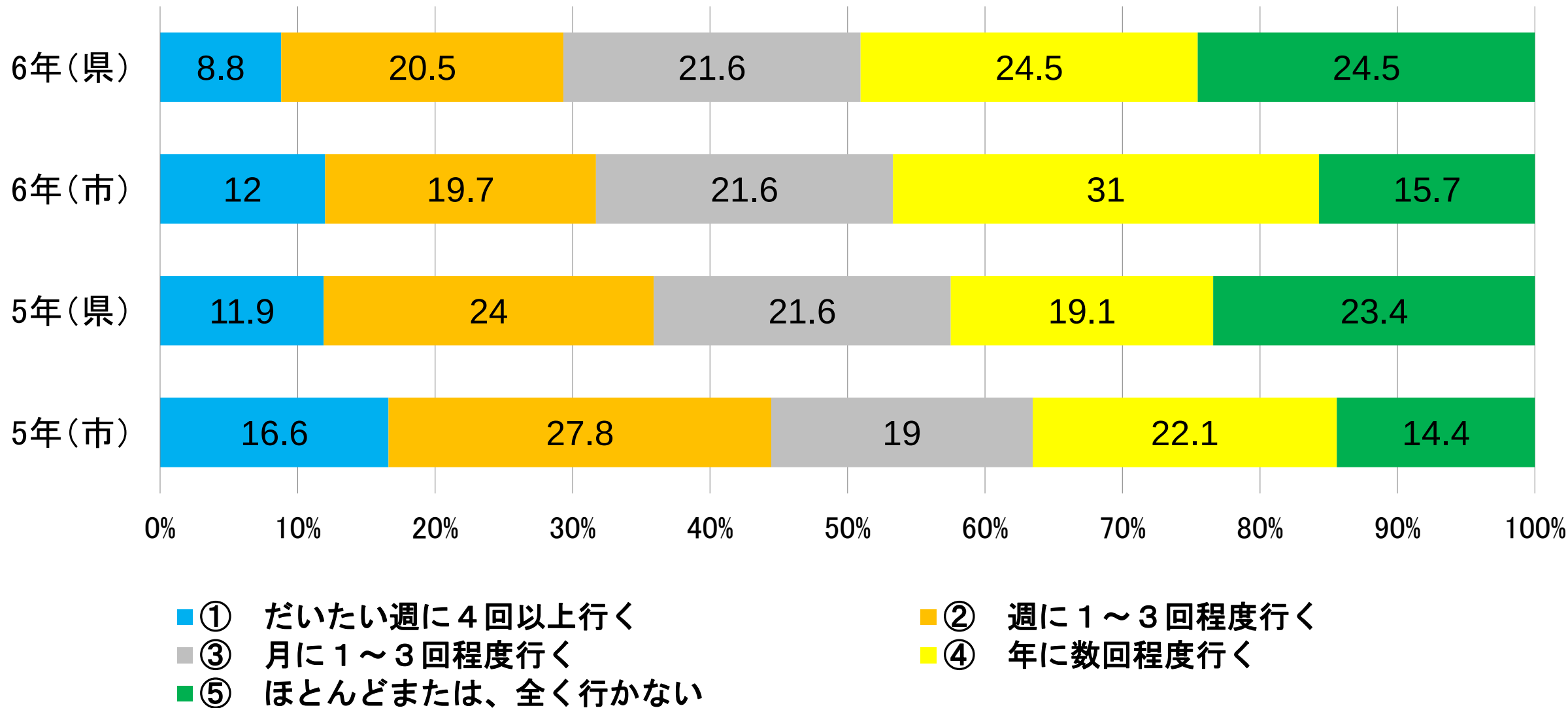
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思いますか。



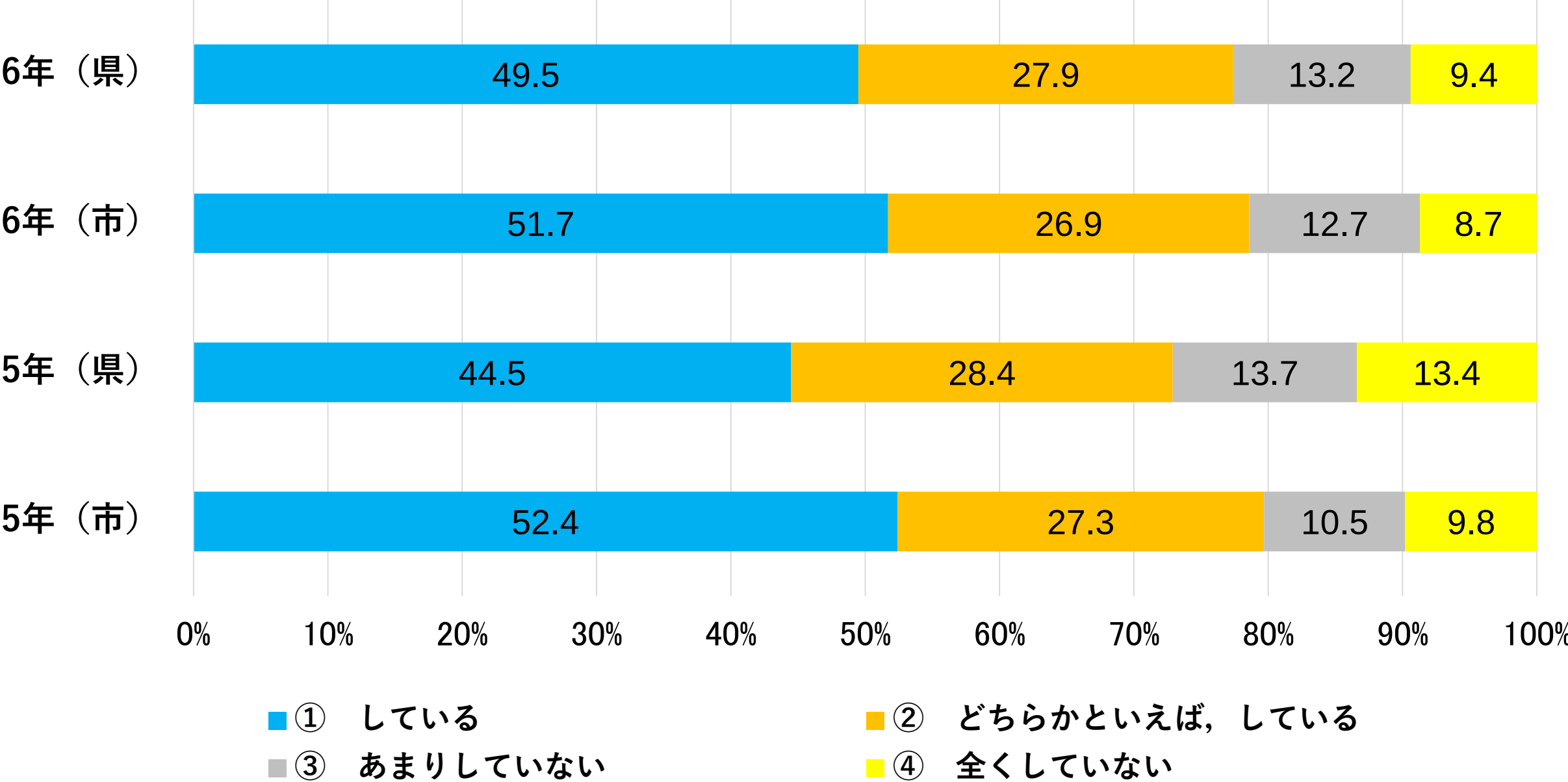
毎日朝食を食べていますか。



昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。



地域の行事に参加していますか。



(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態（小学校）

- 6年生の国語の調査では、全国・県と同等の結果であった。5年生の国語の調査でも、県と同等の結果であった。6年生の算数は、全国を0.04ポイント、県を0.03ポイント下回った結果であった。5年生の算数は、県と同等の結果であった。
- 国語の正答数分布グラフでは、高得点層が全国・県共に若干上回っている。一方、低得点層も若干上回っており、低得点層の底上げが必要である。算数の正答数分布グラフでは、高得点層が全国・県共に下回っており、高得点層の底上げが必要である。
- 意識調査の「学校の授業時間以外で1日当たりどのくらい勉強しているか」という質問に対して、市内の6年生の児童で「1時間以上3時間以内」と回答した割合が、県平均を約5%上回っている。5年生については、県平均と同程度であった。
- 意識調査の「自分で計画を立てて勉強していますか。」という質問に対しては、5年生は県平均を約2%上回っているが、6年生は県平均を約4%下回っている。5、6年生共に、約70%の児童は自分で計画を立てて勉強しているが、県全体では、学年が上がると計画を立てて学習する児童が増えている。市内の5、6年生の約30%の児童は、自分で学習する際、計画を立てていない。
- 意識調査の「自分で計画を立てて勉強していますか。」という質問に対して、肯定的に回答した児童の割合と平日「家庭学習を1時間以上している」児童の割合が同程度であった。
- 意識調査の「昼休み、放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか」という質問に対しては、「行く」と回答した児童が県平均を5、6年生共に8.9%上回っている。

2 改善に向けた具体的な取組

【以下の内容について各学校に通知し、共通の取組としていく】

○学習状況調査結果を受けて

- 正答数分布グラフに見られるように、低得点層の底上げと高得点層の拡大が課題である。調査対象学年だけでなく、低学年からの学力向上について研修を行い、実践していく。
- 誤答分析を行って、課題を見つけ、授業や宿題等で補充学習する機会を必ず設ける。
- 新学習指導要領がめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導方法の改善や職員の指導力向上に努める。
- ICT機器の有効活用の在り方をさらに研修し、ICT機器を積極的に活用した授業の実践につなげる。
- 武雄市では、県の指定や委託を受けて、研究、実践に取り組んでいる。指定校や実践校での取組を市内の小中学校に広げるために、公開授業等への積極的な参加を奨励する。

○意識調査の結果を受けて

- 「自分で計画を立てて勉強する」習慣をつけるために、計画を立てて学習することの大切さについて各学校でさらに指導していくとともに、各学校で配布している家庭学習の手引きを一層活用していく。また、「計画をたてて勉強している」と回答した割合と平日「家庭学習を1時間以上している」児童の割合が同じことから、自分の学習計画と実際の学習時間の相関関係についても、児童自身が振り返る機会を設ける。
- 「昼休み、放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館へ行く」児童をさらに増やすために、各学校でさらに読書の奨励を行うとともに、武雄市図書館や子ども図書館でのイベントの紹介を積極的にこれまで以上に行っていく。
- 今後とも「地域の行事に参加」するよう、働きかけを行っていく。

実態分析と改善に向けた 具体的な取組

武雄市 中学校（５校）全体

【武雄市 中学校】

1 生徒の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

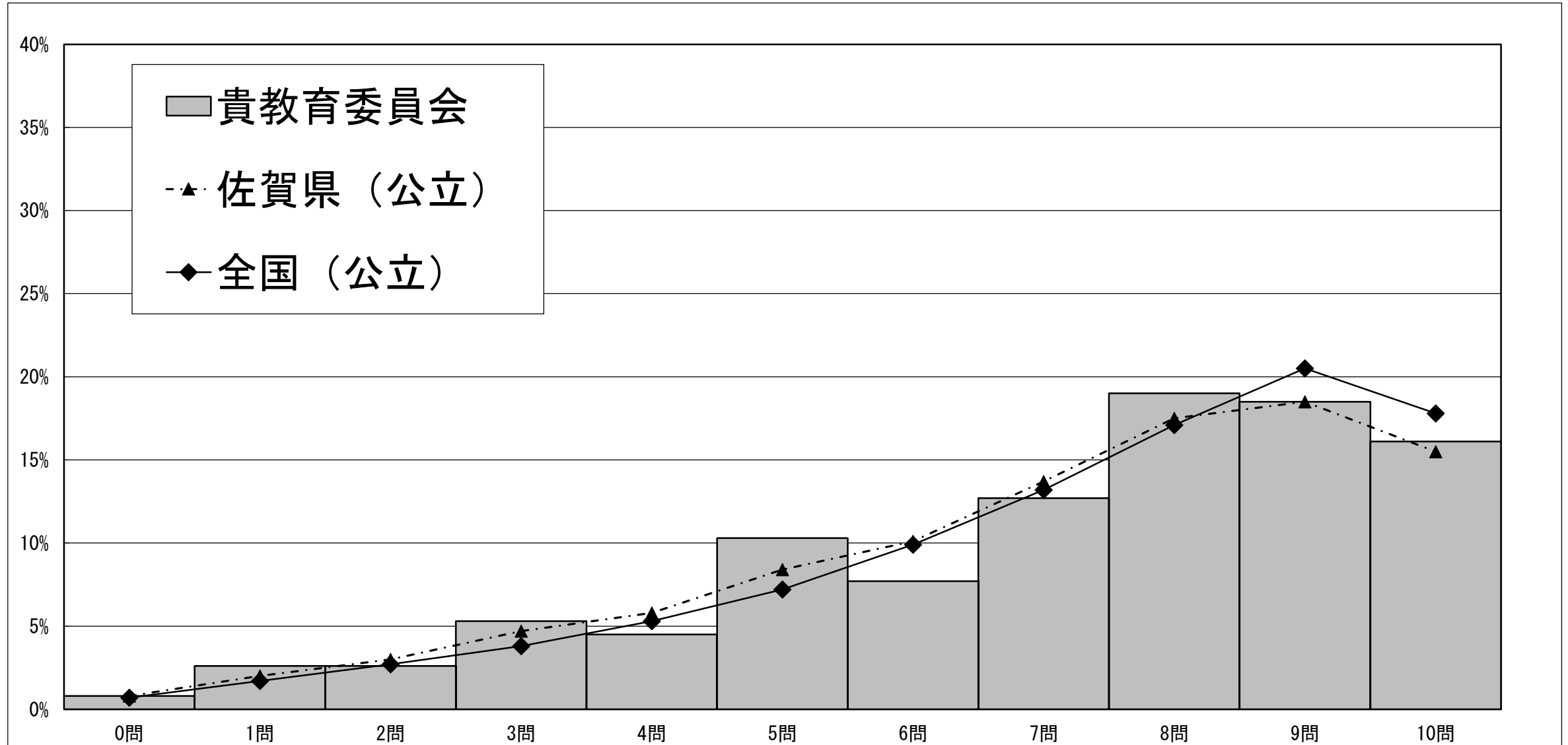
	国語			数学			英語
	1 年時	2 年時	3 年時	1 年時	2 年時	3 年時	3 年時
H31入学 現 1 年	70.5 (0.98)			64.5 (0.96)			
H30入学 現 2 年	68.1 (0.98)	59.9 (0.97)		64.7 (0.96)	58.1 (0.99)		
H29入学 現 3 年	67.2 (0.98)	57.2 (0.97)	71 (1.00)	65.3 (0.95)	52.5 (0.98)	55 (0.96)	50 (0.98)
H31 正答率の全国比			(0.95)			(0.92)	(0.89)

◎ 1 ・ 2 年時は佐賀県学習状況調査、3 年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段()は県平均を 1 としての比較。

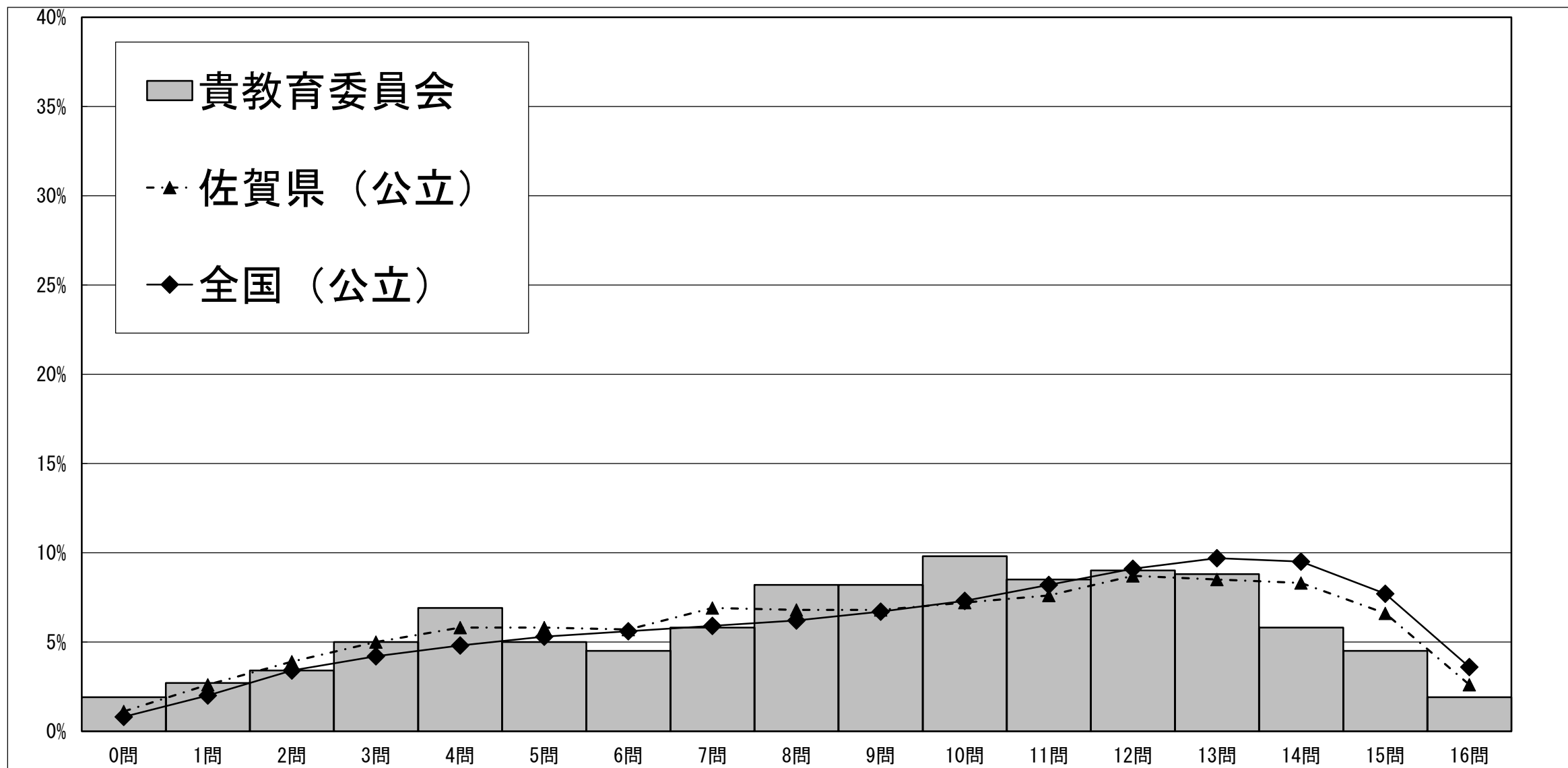
◎「H 3 1 正答率の全国比」は全国平均を 1 としての比較。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（中3国語）



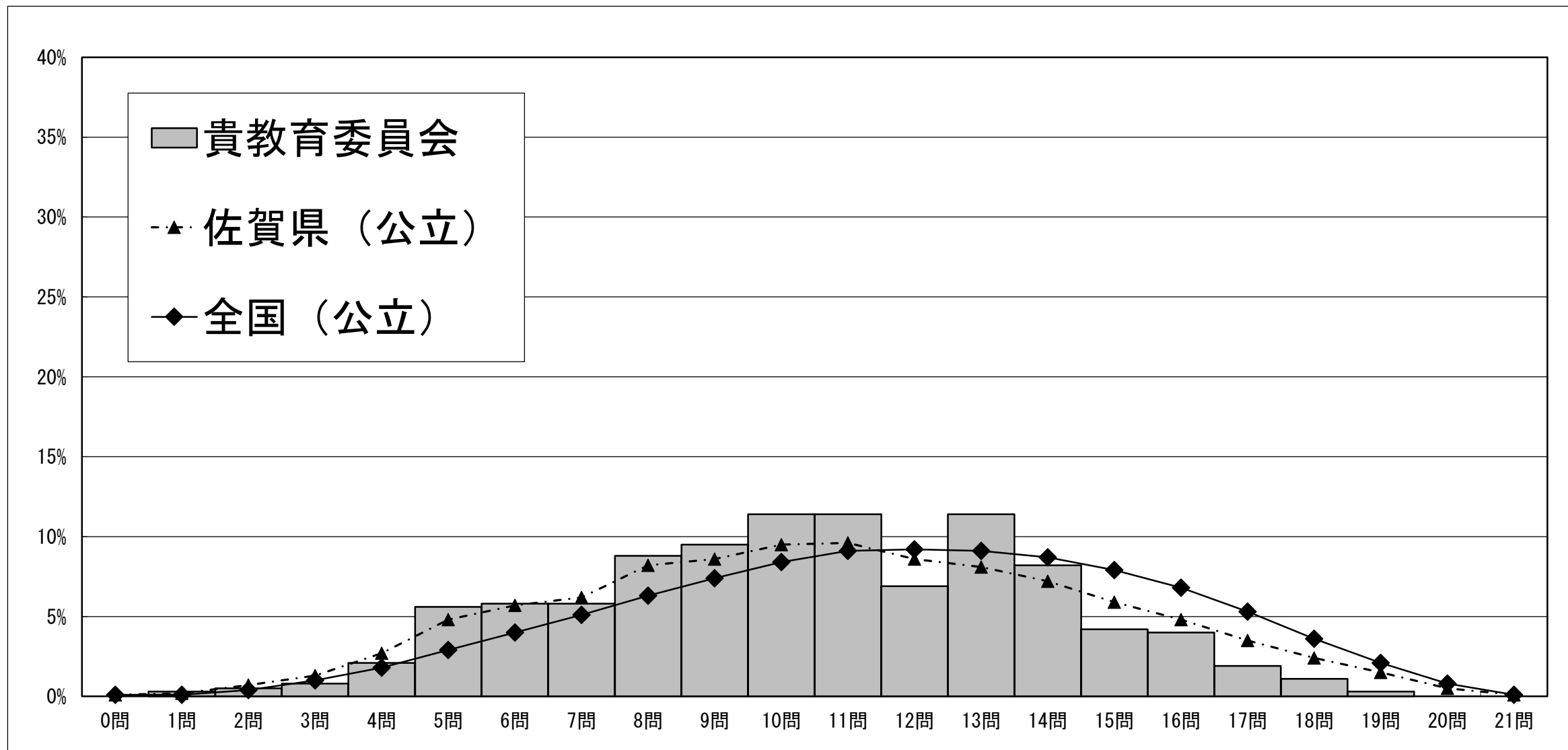
文部科学省 平成31年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（中3数学）



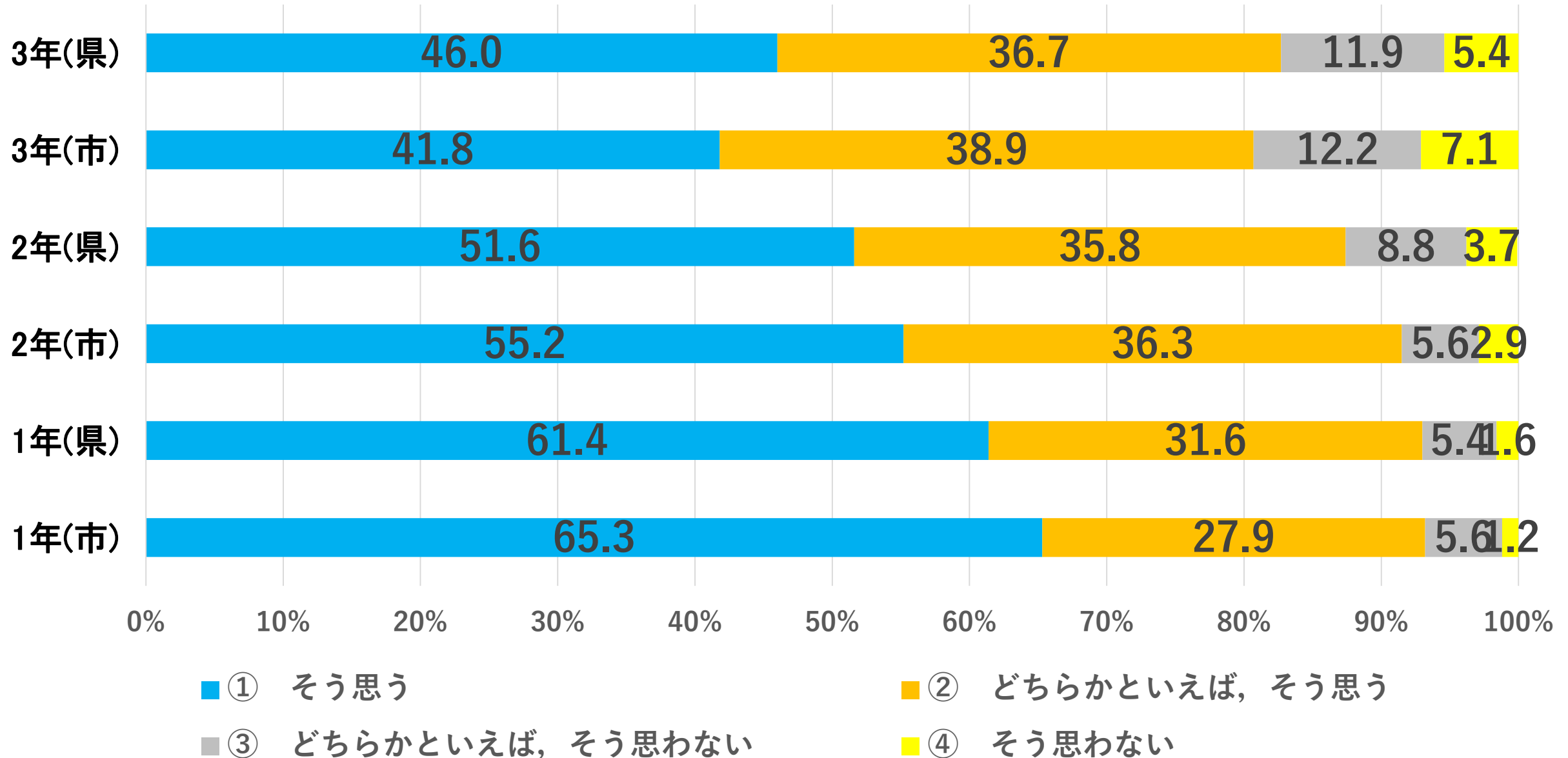
文部科学省 平成31年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）（中3英語）

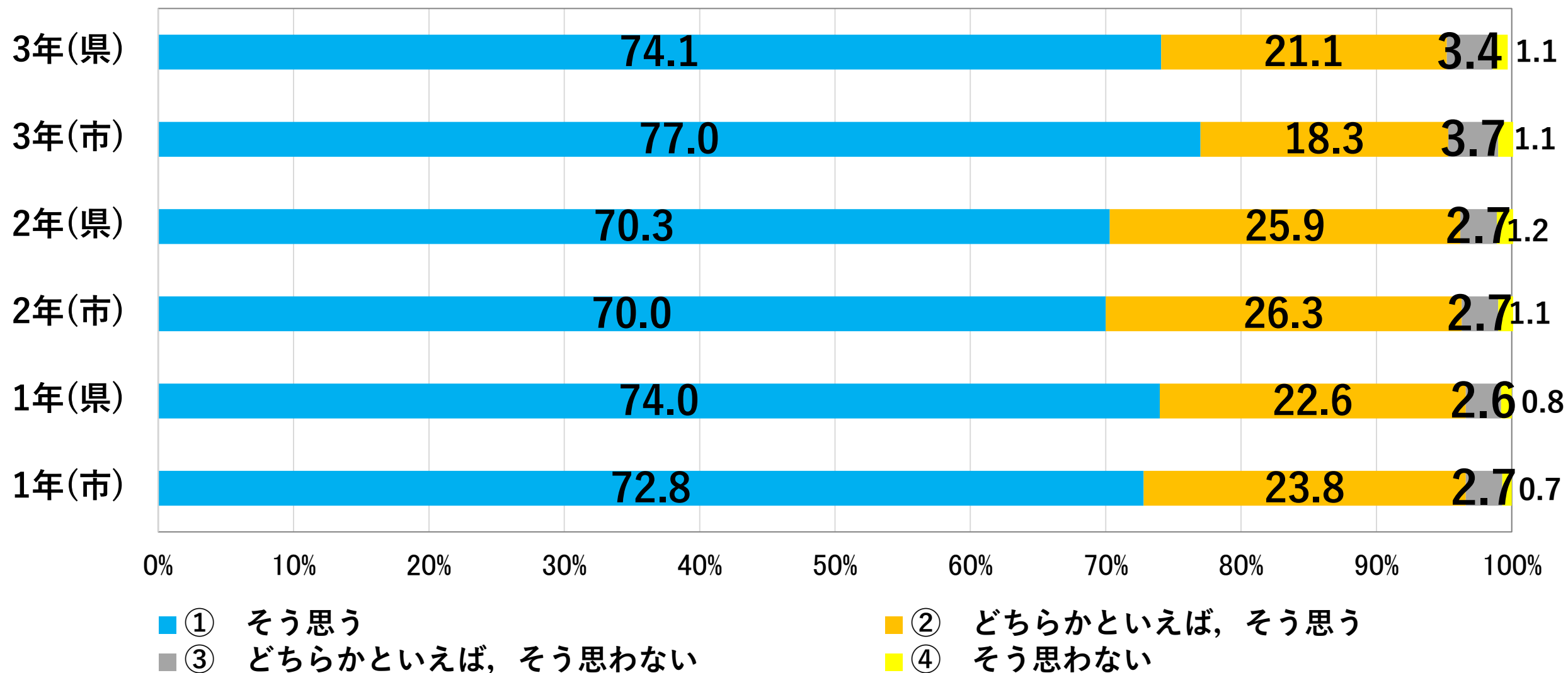


文部科学省 平成31年度全国学力・学習状況調査（中学校）結果より

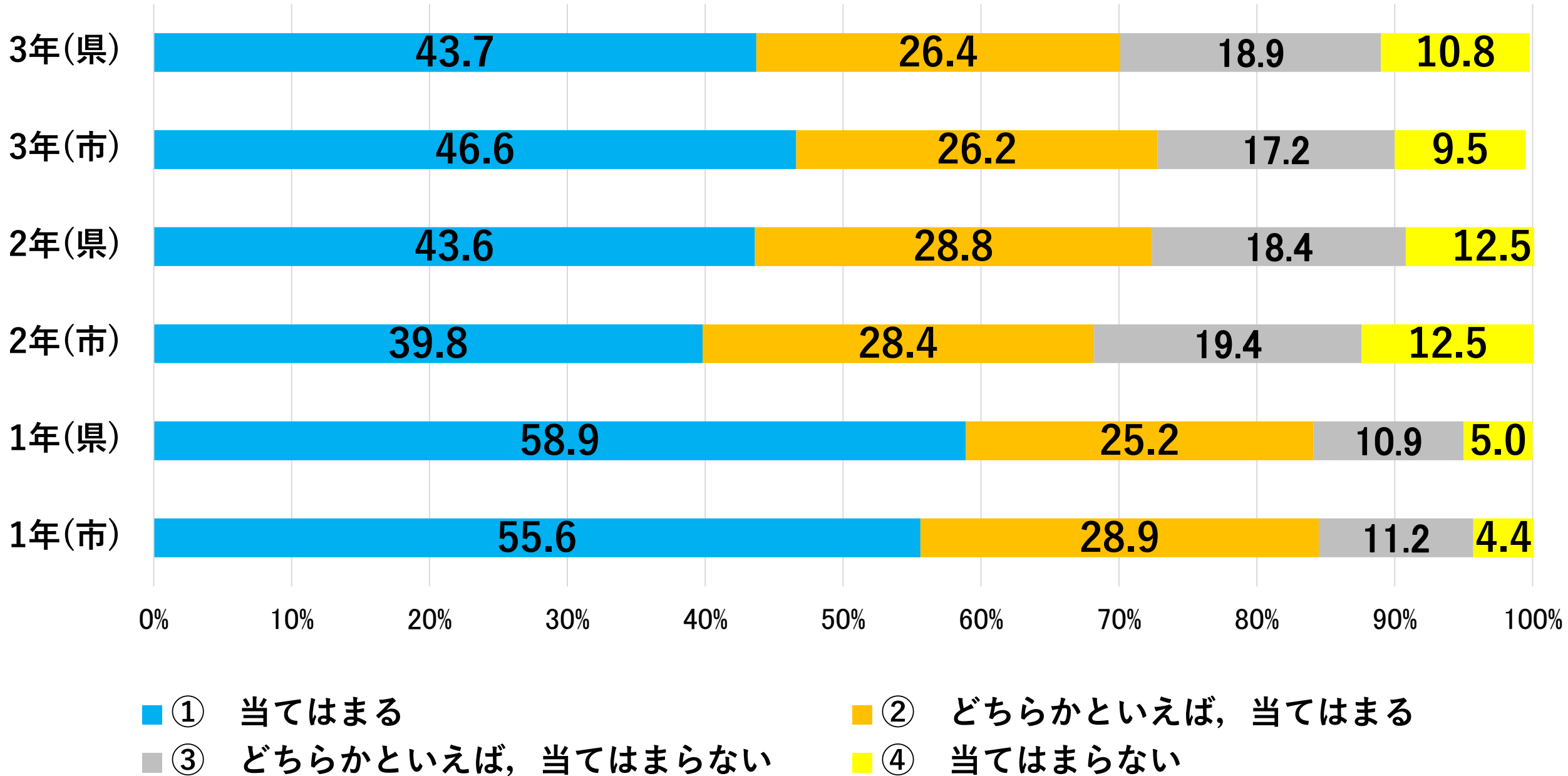
学校に行くのは楽しいと思いますか。



人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

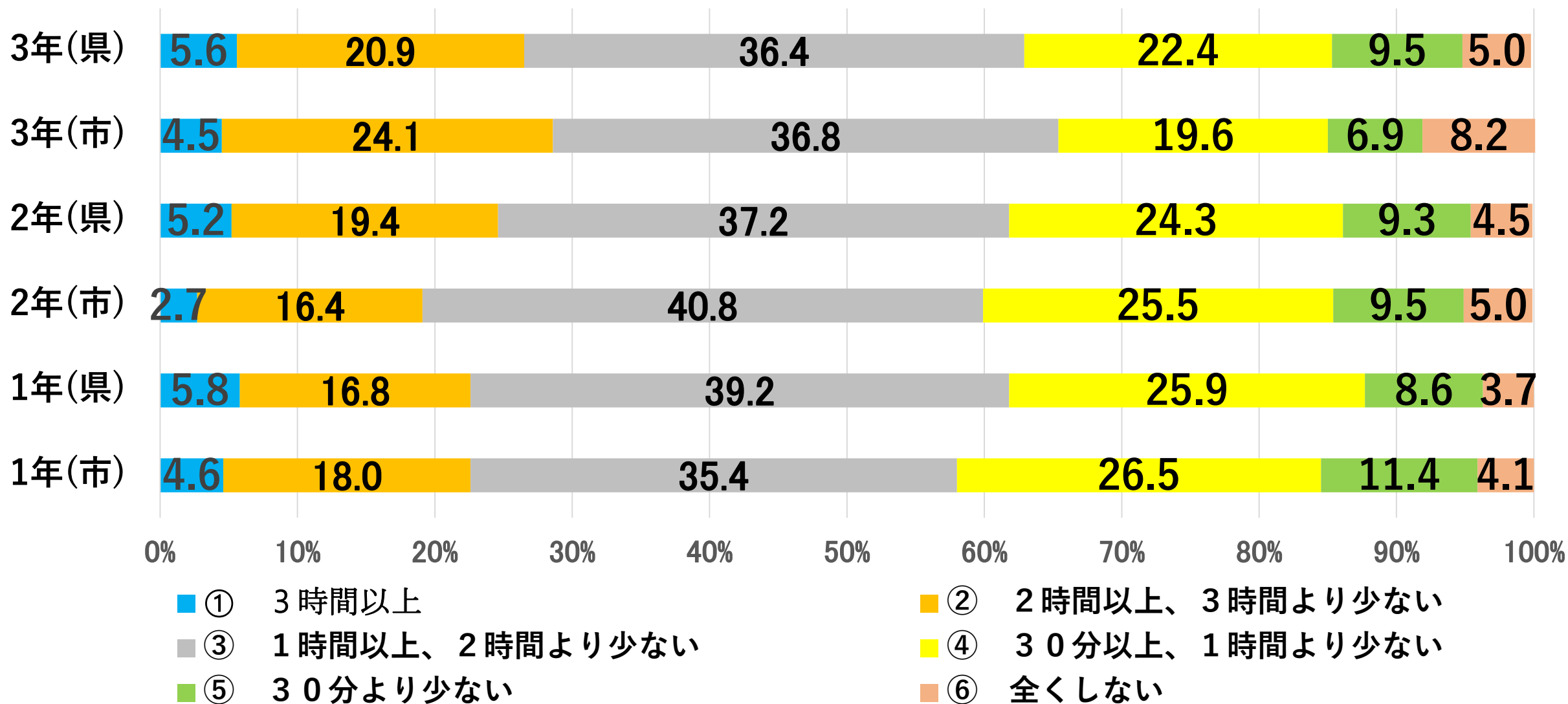


将来の夢や目標を持っていますか。

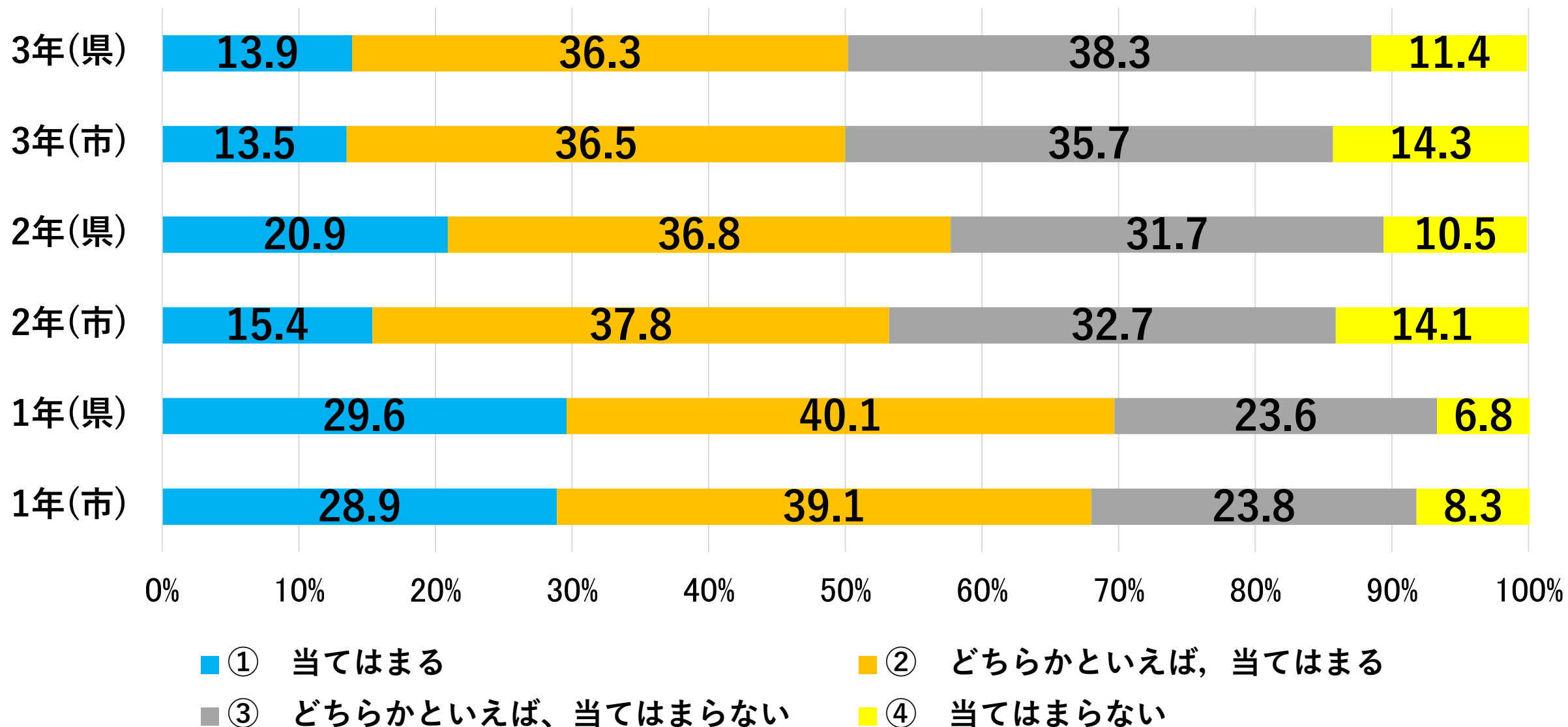


学校の授業以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。

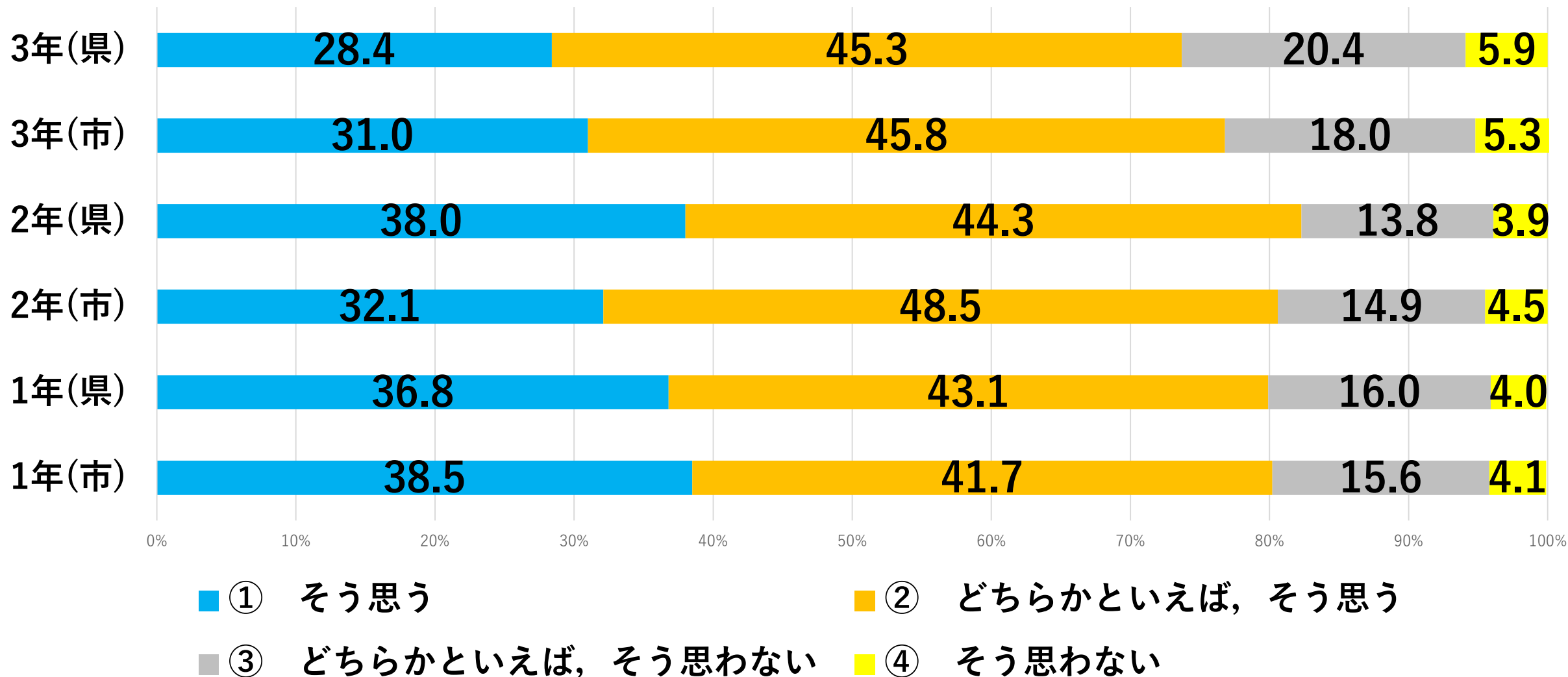
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）



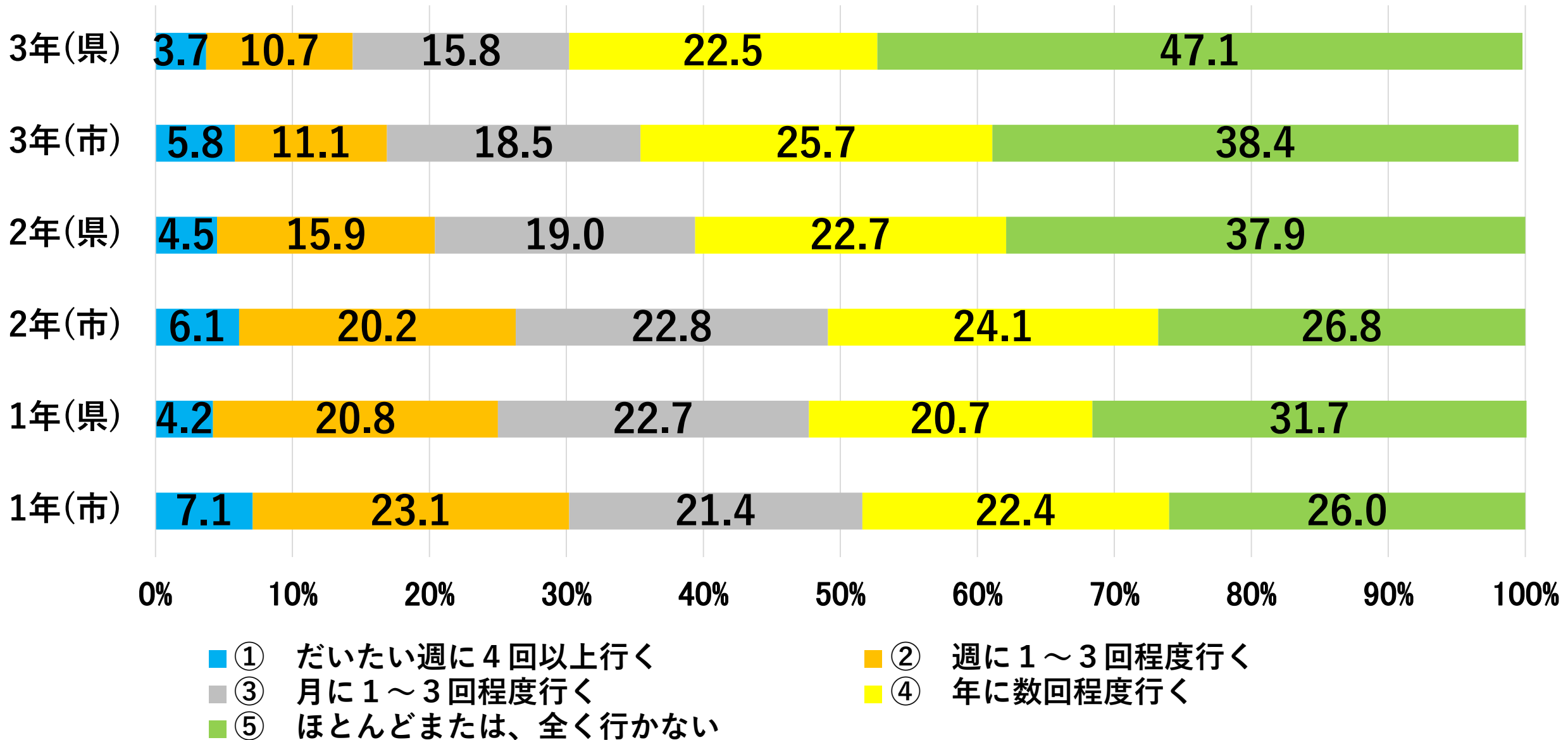
自分で計画を立てて勉強していますか



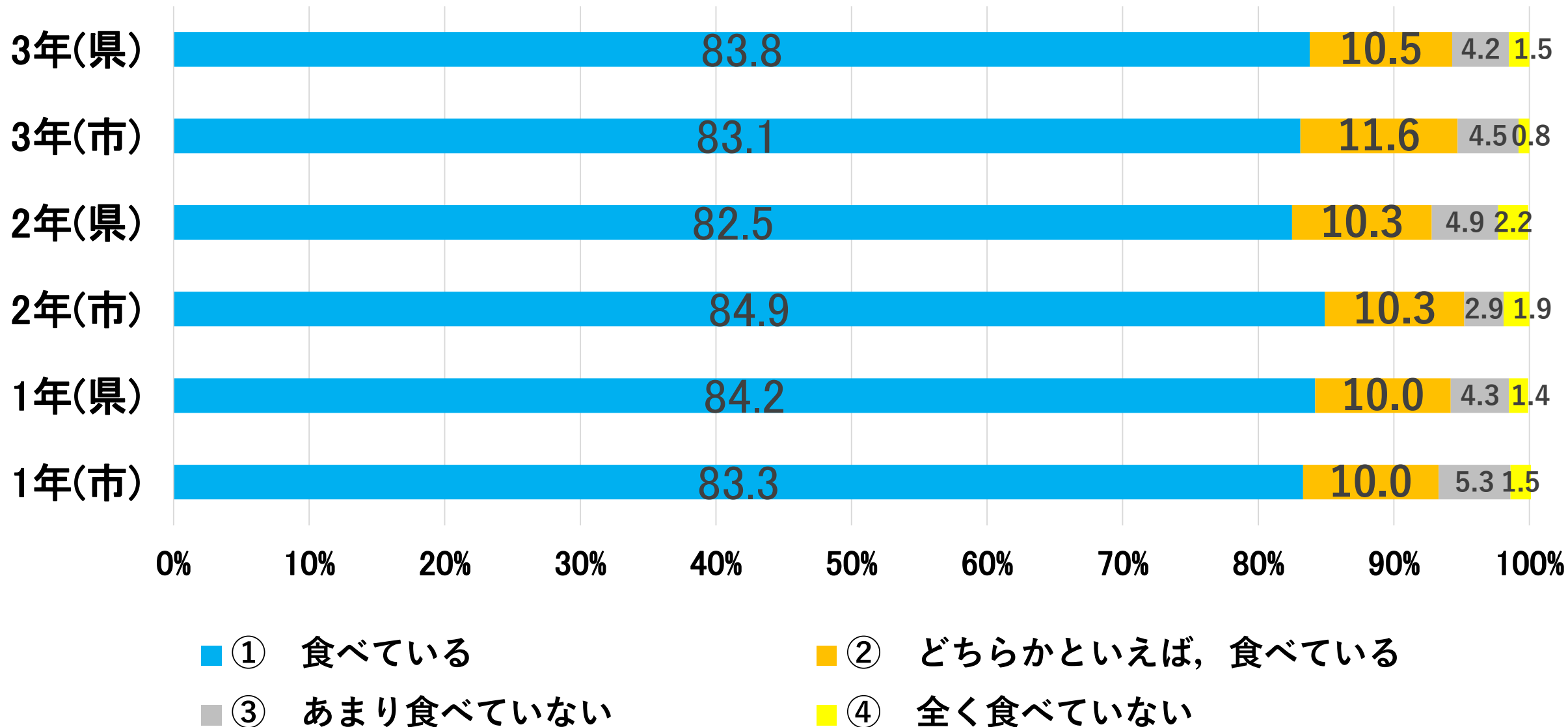
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分考えを深めたり、広げたりすることはできていると思いますか



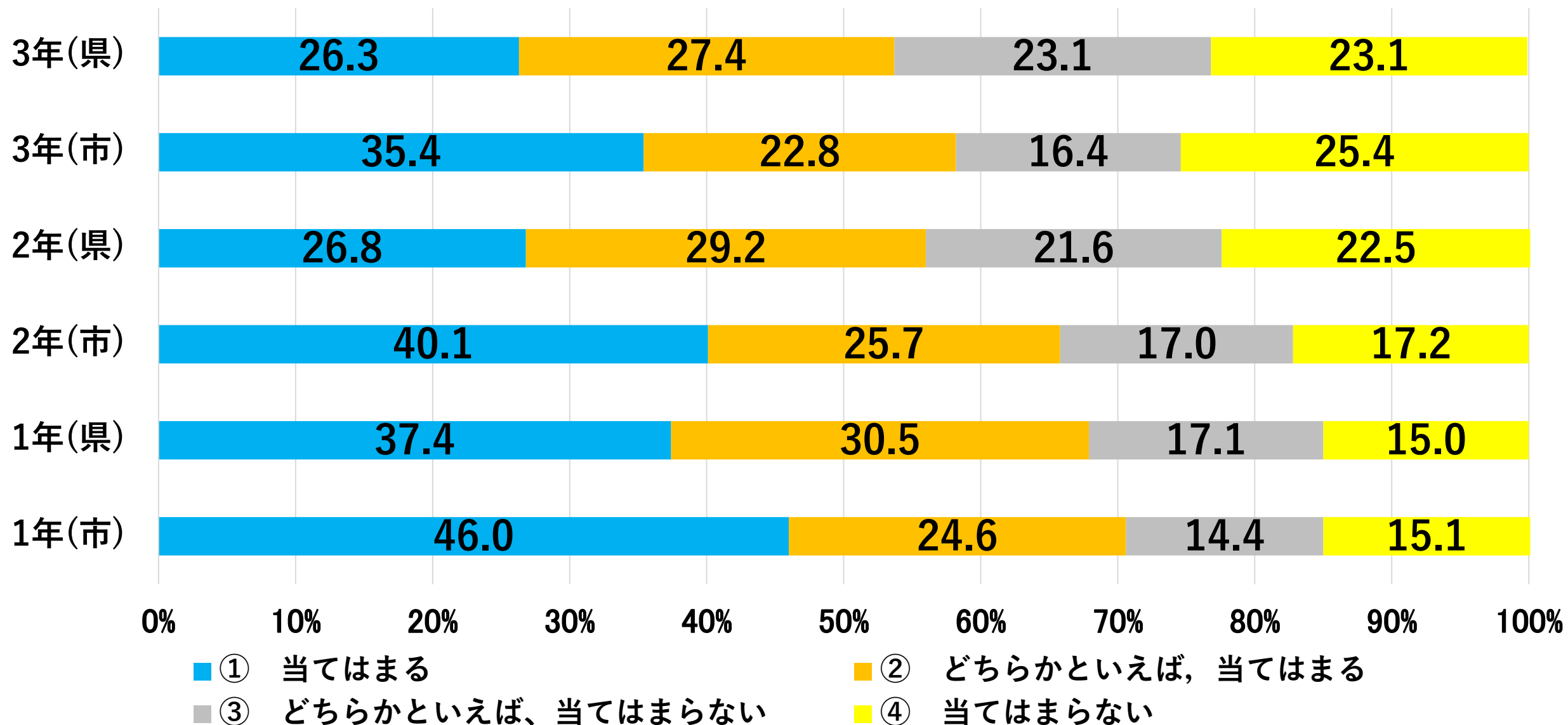
昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。



毎日朝食を食べていますか



今住んでいる地域の行事に参加していますか。



（２）学習状況調査・意識調査から読み取れる実態（中学校）

- ３年生の国語の調査においては、県平均と同等であるが、全国平均と比較すると０．０５ポイント下回っている。また、その他の教科においても、全国・県平均を下回っている。
- 各教科の正答数分布グラフからは、全調査とも高得点層が全国や県より少なく、低得点層から中間層までが多い。
- 意識調査の「学校に行くのが楽しいと思いますか。」という質問に対して、「そう思う」と回答した生徒が１，２年生ともに県平均を約４％上回っていた。また、全生徒の約８０％～９０％が肯定的回答をしている。
- 「将来の夢や目標を持っていますか。」という質問に対して、３年生は県平均を上回っているが、１，２年生では下回っている。
- 「自分で計画を立てて勉強していますか」という質問に対して、１，２年生は県平均を下回っており、３年生は県平均と同等であった。「自分で計画立てて勉強している」生徒の割合が、３年生は約５０％程度であった。
- 意識調査の「昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館へどれくらい行きますか。」という質問に対して、全学年ともに「月に１～３回程度以上行く」と回答した生徒が、県平均を大きく上回っていた。一方、「ほとんどまたは、まったく行かない。」と回答した生徒が約３０％～４０％おり、読書に勤しむ生徒とほとんど読書しない生徒とに、二極化している。

2 改善に向けた具体的な取組

【以下の内容について各学校に通知し、共通の取組としていく】

○学習状況調査結果を受けて

- 基礎学力定着のために、生徒の実態に合わせた補充学習を実施したり、自分のペースにあった「スタディサプリ」を活用したりして学力向上を図る。
- 誤答分析を行って、課題を見つけ、授業や宿題等で補充学習する機会を必ず設ける。
- 新学習指導要領がめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、指導方法の改善や職員の指導力向上に努める。
- ICT機器の有効活用の在り方をさらに研修し、ICT機器を積極的に活用した授業の実践につなげる。
- 武雄市では、県からの指定や委託を受けて、研究、実践に取り組んでいる。指定校や実践校での取組を市内の小中学校に広げるために、公開授業等への積極的な参加を奨励する。

○意識調査の結果を受けて

- 「将来の夢や目標をもてる」ように、キャリア教育に一層力をいれて取り組んでいく。
- 「自分で計画を立てて勉強する」習慣をつけるために、計画を立てて学習することの大切さについて各学校でさらに指導していくとともに、各学校で配布している家庭学習の手引きを一層活用していく。また、平日「家庭学習を1時間以上している」生徒の割合が全学年60％程度であることから、自分の学習計画と実際の学習時間の相関関係についても、生徒自身が振り返る機会を必ず設ける。
- 読書の大切さについて理解させ、一人一人に目標を設定させたり、本に親しめるような取組を考えたりして、読書活動を奨励していく。
- 今後とも「地域の行事に参加」するよう、働きかけを行っていく。